○議長（吉田敏郎）

続いて、8番、山本研一議員、どうぞ。

○8番（山本研一）

こんにちは。8番議員、山本研一でございます。

本日は、通告に基づき一つの質問をさせていただきます。水辺スポーツ公園パークゴルフ場並びに公園管理センターの施設整備を問うです。

水辺スポーツ公園パークゴルフ場は、1994年に開設以来、町内はもとより近隣自治体も含め大変多くの方々がパークゴルフを楽しまれ、地域住民の憩いの場として、また、高齢者の健康保持増進にも大きく寄与していると言えます。利用者も年を追うごとに増加傾向にありましたが、ここ10年間を見ると、必ずしも右肩上がりではなく、しかも直近3年では低迷状態となり、ひところの勢いがなくなっている状況だと考えられます。

水辺スポーツ公園パークゴルフ場は、関東ではじめての歴史あるゴルフ場であり、これまで全国大会や多くの伝統ある大会が開催されてきました。しかし、開設25年が経ち、コースや施設にも改善の必要性が出てきているのではないのでしょうか。そこで、2021年全国健康福祉祭、「ねんりんピックかながわ21」のパークゴルフ会場が水辺スポーツ公園パークゴルフ場に決定したのを受け、全国からお客様を迎える会場として、パークゴルフ場並びに公園管理センターの施設整備の必要性について伺います。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、山本議員の御質問にお答えをいたします。

はじめに、水辺スポーツ公園の現状認識についてお答えをします。

開成水辺スポーツ公園は、昭和63年に策定された開成水辺プラン事業において、河川敷を利用した運動公園として平成6年4月に開園をいたしました。平成22年度からは指定管理者制度を導入し、民間事業者が有するノウハウを活用した施設管理・運営を行っており、公園内にはパークゴルフ場をはじめ、野球場、サッカー場など、さまざまなスポーツやレクリエーション、憩いの場として安全に利用していただけるよう、利用者ニーズに対応したきめ細かなサービスの提供を行っております。

また、水辺スポーツ公園は、小田急線や足柄大橋からも眺めることができ、緑の芝生が一面に広がる酒匂川沿いのロケーション抜群な屋外の総合スポーツ公園であります。全国各地からのお客様を迎える町の玄関として、本町が目指す「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」の象徴的な施設であります。平成30年度は、延べ12万人を超す利用者がありました。特に、全面天然芝のサッカー場は県小学生サッカー大会など子どもの利用が増加しており、野球場、ソフトボール場を含めた利用者がはじめて3万人を超え、町内外から多くの愛好者に認知され御利用いただいております。

パークゴルフは、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、人生を、より健康で心豊かなライフスタイルをつくる地域の人々のコミュニケーションの場として、本町のみならず全国的にも、世代を問わず誰もが楽しめる身近なコミュニティースポーツとして普及をしております。また、「未病の改善」をキーワードに、県西地域活性化プロジェクトの「運動の駅」として登録されており、スポーツ活動の拠点として非常に重要な施設であります。

平成30年度に実施をした水辺スポーツ公園利用者満足度調査において、公園全体の満足度は92%の利用者から満足いただいております、パークゴルフ場をはじめとする各施設の芝の管理及び施設・設備においても、9割近くの利用者に満足していただいている調査結果でありました。

次に、パークゴルフ場の整備状況及び利用状況について、お答えをいたします。

パークゴルフ場のコース環境においては、以前は冬季のグリーン損傷予防策としてグリーンの立入禁止期間を設けておりました。現在では、グリーンの密度形成を維持することで通年開放が可能となっており、開設当初と比較しても質の高い芝生の状況が維持をされ、コースのクオリティーも向上し、多くの利用者に満足していただいております。

パークゴルフ場利用者は、近年、近隣市・町のパークゴルフ場の開設や利用者の高齢化等によって減少傾向でありました。しかし、昨年からは、試行的に夏季期間の利用時間の拡大や、芝生の休眠期（12月から2月）における施設の有効利用を目的に休園日である木曜日の午前中にパークゴルフ場の臨時開園や、年間を通じた「水辺カップ」の開催等、指定管理者が大会を独自開催したり誘致したりにより、平成30年度は前年度比2千764人増の年間8万3千239人の利用者がありました。

パークゴルフ場の整備については、全国健康福祉祭「ねんりんピック」の開催も控えており、今後も引き続き芝生のクオリティー向上を中心にコース環境の整備に努め利用者増を図っていきます。ねんりんピックでは、「あじさいカップ」や全国大会等と同様に、軟式野球場の外野芝生部分に9ホールの増設をし、36ホールで開催する予定であります。ねんりんピックは全国各地からお客様が来場されるため、県及び町パークゴルフ協会をはじめ町内各種団体、関係機関と協力して、心を込めておもてなしをしていきたいと思っております。

次に、管理センターの施設整備についてお答えをいたします。

管理センターの施設整備については、開設から25年が経ち、施設の長寿命化や利用しやすい施設環境とするため、平成27年度に管理センター屋根の塗装工事をはじめ、特に利用者からの要望が多かったトイレ改修について、昨年度、男女トイレを和式から洋式に改修し、公園スタッフによるきめ細かな清掃等もあり、清潔感に関する利用者満足度調査でも満足度が前年度より6%増えたという結果となりました。今年度においても、既に研修室の空調設備の改修を実施したところであります。

また、昨年度から、町商工振興会との連携により、開園日の昼どきを中心に軽食販売をはじめました。利用者にも好評であり、今年度は、さらに2事業者も加わり、4

事業者で軽食販売を行っております。

御存知のとおり、水辺スポーツ公園は河川区域内の施設であり、コースの新設や施設の増改築等は河川法の制約を受けることから、構築物などの設置に関してはかなりハードルが高いと認識をしております。このようなことから利用者全ての要望に応えることはできませんが、今後も、できることから確実に対応し、より良い環境整備に努めてまいります。

最後になりますが、パークゴルフ場については、これからも多くの世代の方々に楽しんでいただけるよう指定管理者と連携をし、芝の管理をはじめコース環境の向上に努めてまいります。また、大会の開催や教室等を通じ、パークゴルフ人口の拡大にも努めていきたいと思っております。管理センターについても、さらに満足いただけるよう多くの利用者の声を聞き、優先順位をつけながら施設環境の充実を図ってまいります。今後も、町を代表するスポーツ施設として、利用者が安全・安心に利用できる施設づくり、健康づくりに引き続き取り組んでまいります。

以上であります。よろしく願いいたします。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

それでは、再質問をさせていただきます。

住んでみたい、いつまでも住み続けたい、そんな魅力あるまちづくりの原点は、町のトップである町長の明確な考えと強いリーダーシップにあると考えております。これは、先ほど、同僚議員も申したとおりだと思います。

今回、質問したパークゴルフ場については、町長はさまざまなパークゴルフ大会の挨拶の中でパークゴルフへの思い入れの話をされていると聞いていますが、なかなか形にあらわれない、指定管理者に任せ切りになっているのではないかなど、さまざまな声を聞くのも事実でございます。答弁の中に出てきた芝のクオリティー向上や管理棟のトイレの改善などは、確かに利用者や多くの町民の皆さんが喜んでおります。また、先ほど、町長答弁の中で、パークゴルフ人口の拡大にも努めていく、あるいは今後も町を代表するスポーツ施設として、利用者が安心・安全に利用できる施設づくり、環境づくりに引き続き取り組んでいくなど、町長の思いの入れようが伺える答弁を聞き安心しました。

パークゴルフ場や管理センターの整備については、これまで取り組んできた内容や今後、進めようとしていることに関し、町長から答弁されましたので、今後は利用者の皆さんの要望や意見、また、ねんりんピックまでに行う準備など、具体的な内容は担当部署とやりとりをさせていただきたいと思っておりますが、今日は町長の考え方について、いくつか再質問をさせていただきます。

パークゴルフ場や水辺スポーツ公園に関しては、過去に何回か同僚議員が質問をしています。ここ数年の3件の質疑応答の内容で既に実施済みのものもあれば、現在、進められているもの、そのままになっているもの、いろいろあるように思いますが、

本日は時間の関係で、この3件に共通した利用者や町民の皆さんが最も関心が高いと思われる質問、前回の町長選挙時に公約に上げられた9ホールの増設についてであります。

27年3月の一般質問では「つくっていきたいと考えている」、28年3月には「必要な手続を進める」という答弁をされていますが、29年6月の答弁では「常設9ホールの増設は、しない方向で今は考えています」と発言されています。この9ホール増設については、大きな大会以外36ホールの必要性はなく、今回、ねんりんピックも、あじさいカップや全国大会等と同様に、軟式野球場の外野芝生部分に9ホールを増設し、36ホールで開催する予定であるとの回答でした。

運用上、大きな支障のあるものではなく、新設にあたっては、河川法の制限や費用対効果などを考えても慎重に検討すべきだと考えますが、利用者や町民の中には新設を楽しみにされているという声もあるのが現状です。そこで、町長が公約した9ホール増設について、現時点で、どう考えられているのか、お聞かせいただきたいと思えます。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

9ホール増設については、2期目のときの選挙の公約の中で入れさせていただきました。平成32年のねんりんピックというのがある、何としても全国大会を開成町でもとっていききたいという思いの中で、なかなか河川法の中で簡単ではないと思いましたが、そういう機会のときでないと、なかなか県に対しても、河川敷の優遇ではないですけれども、持っていけないのかなという中で、実際は9ホールつくるつもりでいろいろ調査をしました。

今ある河川敷の中で、どこにあと9ホールがつかれるかということの中で、どうしても、今のパークゴルフ場から下の野球場があって、ソフトボール場があって、サッカー場があって、その下の一番、足柄大橋に近いところの部分が一部、使える場所として候補地として上がりまして、そこに9ホールの設計を実はしました。そういった中で、その案を町のパークゴルフ協会の役員さんたちに見ていただいて、これでもかなということの内々の話をさせていただいた中で、やはり今あるパークゴルフ場から大分離れているということで、使い勝手がそんなに遠いところでは悪いと。

さまざまな御意見をいただいて、パークゴルフ協会として、そこまで、9ホールをつくる場所として、あまり了解は得られなかったと。感触が良くなかったという中で、河川法の中でなかなか難しい中で、協会の協力が全面的にないと9ホールをつかっていくには難しいという中で、町の議員さんからも議会の中で質問を受けて、そのときに9ホールつくることは選挙公約であったけれども断念をしたいという話をさせていただきました。

そのときに、傍聴者が後ろにたくさんおられまして、協会の役員さんもたくさん来ておりました。そういった中で、きちんと、確かに、やるつもりでいたけれども、な

かなか9ホールを今の中であつていくには難しい状況が生まれたという中で、私は断念したということをしちんと表明しましたので、それは今でも同じです。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

水辺スポーツ公園パークゴルフ場も、開設から20年以上経過しまして、マンネリ化や老朽化の傾向があらわれるようになりました。また、近年ではパークゴルフ場が数多く開設される中で、9ホールの増設は利用者にとって大変大きな期待であり、また、開成町の有利性を保つ格好の内容だと思ひまして、私も9ホール増設について真剣に検討したことがありました。しかし、今、町長がおっしゃるように、さまざまな条件を考えると、利用者の皆さんに喜んでもらえるような形での増設は到底できないという結論に達して、公約に上げて楽しみにしている町民の皆さんを欺くようになってはいけないという判断をしました。

9ホール増設の公約は、既に府川町長が町長になってからのことであり、十分に検討できる立場だったと思ひますが、府川町長が公約として、その時点で町民の皆さんに9ホール増設をするという約束をした根拠は何だったのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

やはり、多くの町民の皆さんから、あと9ホールをつくってほしいという声は聞いておりますし、要望がありました。それにあわせて、ねんりんピックがあるということの中で、うまく、河川法の厳しい中でも、あと9ホールできるのではないかなという私も楽観的な希望の中で、そういうお話をさせていただきましたけれども、現実的には、パークゴルフ協会の皆さんの要望が、あそこの場所に9ホールつくるには、あまり良い感触ではなかったということがあって、その後押しがないとなかなか厳しい河川法の中で進めいくには難しいということで、私は断念をさせていただきました。

そういう意味で、この議会の議場で、きちんとおわびはさせていただきました。それは、全員の皆さんに了解されていない部分はあるかもしれませんが、けじめとして、私はきちんとさせていただいたと思っております。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

もう3期目の町長に言うまでもない話ですけれども、選挙公約というのは、辞書でいうと選挙の立候補者が当選後に実施すると有権者に約束する事柄と出ています。今、町長がおっしゃっている話というのは、町長の立場であつて、十分検討する立場にありながら、十分な検討をしないままに有権者に約束したという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

選挙公約をつくるときに、事前の準備が足りなかったと。私も、ある意味、ねんりんピックを目指して、何とか難しい河川敷でも9ホールをつくりたいという思いの中で、そういう約束をしたということで、事前調査が足りなかったというのは言われるとおりです。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

先ほど、前回の議会の中で、かなりの傍聴者がいる中できちんと報告をしたとおっしゃっていましたがけれども、これは、議事録を見ても、きちんと報告したと言えるかどうかというのと、もう一つは、このときに質問された議員が議会だよりも掲載されている内容を見ると、まだ、そこで断念されたかどうかというのは、非常に読み取りにくい内容ではないかと思っております。公約については、もちろん、できるものできないものがあるのかもしれませんが、私は、やらないならやらないで、きちんと有権者、町民の皆さんに説明責任を果たすべきだなと。

近隣の町では、町長がパークゴルフ場をつくりますという選挙公約をされました。基本的には、いろいろ調査・研究をした結果、どうしてもつくるのはいろいろな面で難しいと。これは、今、府川町長がおっしゃったように、9ホール増設と同じようにいろいろな問題があつて難しいという判断になられたようですけれども、そのときの議会の議事録を見ますと、非常に丁寧に、そして一生懸命おわびをしているというか、謝罪の気持ちがあらわれた答弁をされております。そういった意味では、今回、9ホールを断念するのであれば、きちんと町民の皆さん、みんなが認識できるような形で町長責任を果たすべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

ですから、先ほど、お話ししたように、この議場で、きちんと議員さんの質問に答えて、断念するというをここで宣言したということは、私は、それは、きちんといろいろなところに伝わって、その謝罪になるのかなと考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

もし、そうであれば、もう町長の考え方ですから、それ以上、言うつもりはありませんけれども、そうなると、近隣のパークゴルフ場をつくりと言った町長と府川町長

では、できなかったことに対する説明責任の重さはえらく違うように私は感じているところであります。そういう面では、先ほど、今回、3期目に向けた公約をされましたけれども、そういう部分についても非常に心配になるのは私だけではないと思います。

先ほど、同僚議員も申しあげましたように、この町をよくするも悪くするも町長のかじ取り一つにかかっていると言っても過言ではない、そう私は思いますし、それだけの責任を背負っているのが町長だと思います。そういう面で、良いものは良い、悪いものは悪い、間違っていたら「済みません」、そういう説明責任は、やはり私としては、どこかの町長さんと同じように果たしていただきたいかったな、そういう思いでいっぱいですがけれども、町長があれば良いのだということであれば、それはしようがないことですから、次の質問に入らせていただきたいと思います。

ねんりんピックに向けて、もちろん全国からお客さんを迎えるわけですから、ある程度。1軒の家でも、お客さんを迎えるとなると、ある程度、掃除をしたり、そういった迎え方をするわけですがけれども、先ほど、町長答弁の中にも、いろいろな関連の組織を使って十分なおもてなしをした迎え方をしたいというお話がございました。

何か事業をやるときには、当然ですがけれども、お金が伴います。予算のない事業というのは、基本的にはあまり考えられないと思うのですがけれども、今、考えられている範囲の中で、このねんりんピックを開成町でやるにあたって、基本的には、芝の、芝のというか、パークゴルフ場そのものと、それから管理棟を含めて、どのぐらいの予算をつぎ込んでというか、使って全国からのお客さんを迎えようとしているのか。一生懸命、迎えますよ、できるだけの接待をしますよと言っても、それは口で言うのにすぎないと思います。やはり、その裏づけとなる、背景となる予算が、どのぐらい準備するというのが町長の頭の中にあるのか、今の時点で結構ですから、お聞かせいただきたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（小玉直樹）

済みません。予算の関係ですので、担当の私からお話しさせていただきたいと思います。

ねんりんピックに向けては、まだ実行委員会等も立ち上げていない状態で、実は先般、県で会議があったのですがけれども、今年度は和歌山県でやると。その辺の市町村への補助というのをお示しにはなったのですがけれども、実際、実行委員会が立ち上がるのが早く今年度末、遅ければ令和2年度早々というふうに、今、担当課の福祉課とは調整を進めているところです。

その辺のところを踏まえた上で、予算確保という部分では、多分、恐らくハード面的な部分の補助というのは、県の補助は出ないと思いますけれども、もう少し県の実行委員会との調整等を含めた中で今後決定していきたいと、そのように考えてございます。

○議長（吉田敏郎）

山本議員。

○8番（山本研一）

分かりました。まだ、ちょっと時期は早いと思いますし、町長は以前に宣言したとおっしゃっていますけれども、今、私は、改めて9ホールは新設しないということですので、そういったものも含めて、今の現行、プラス外野の芝を使ってやるのであれば、そういう面では、今のパークゴルフ場を、さらにこれを機会によくしていくというか。町民の皆さん、利用者の皆さんが喜んでもらえるような、この際ですから、9ホール新設するという思いからすれば、それだけの費用が浮くわけですから、ぜひ、そういう形でねりんピックを迎えるようお願いしたいと思います。

少し時間は残りますけれども、ねりんピックにつきましては、基本的には、人数はそんなに大勢ではないと聞いていますけれども、全国からお客さんを迎えることになります。開成町のパークゴルフ場は、関東ではじめての発祥の地ということもありますし、神奈川県で、せっかく開成町でパークゴルフをやるということになったわけですから、全国からお見えになった参加者の方々が「開成町でパークゴルフをやれて良かった」、そう言われるように。ぜひ、町長の明確な考えと強いリーダーシップで盛大にできるように、怠りのない準備をお願いしまして、また、そういう期待をしながら私の質問を終わらせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

これで山本議員の一般質問を終了といたします。